

放課後子ども教室だよ

小島たのしい教室・みずはらっこふれあい教室訪問

子ども教室充実のために

放課後子ども教室は、地域の多様な方々の参画を得て、放課後の子どもたちのこころ豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。今回訪問した2つの教室は、活動に地域の方々がたくさん関わり、子どもたちの豊かな学びを支えています。

小島たのしい教室

川俣町（10月22日）

小島たのしい教室は、小島公民館のホールを利用して実施しています。小島地区の子どもたちはスクールバスで川俣小に通学しており、その駐車場になっている公民館までバスで下校してきます。隣接する小島ふるさと交流館の体育館やグラウンドを使って思いっきり体を動かすこともできます。

訪問した日の活動は、学校の宿題と自由遊びでした。スタッフの方は、分からないところを教科書や辞書を用いて丁寧に説明するなど、個に応じた学習支援を行っていました。また季節毎にイベントも実施しており、七夕やだんご差し、母の日のプレゼント作りも行っています。

子どもたちのおやつにと地域の方から果物が届き、また公民館を利用する団体からお裾分けをいただくことも多々あります。地域の方々の理解と協力に支えられている教室です。



みずはらっこふれあい教室

福島市（10月27日）

みずはらっこふれあい教室は、水原小学校多目的ホールを利用し、毎週火曜日と木曜日の2回実施しています。全校児童が子ども教室に登録しています。活動中に小学校の先生方が教室を訪れ、活動の様子を参観することもあります。

訪問当日は工作教室を行っていました。紙コップやトイレットペーパーの芯、ペットボトルキャップなど身近な物を用いて自動車作りを行いました。低学年の児童でも容易に作ることができ、またできあがった自動車を楽しみながら走らせていました。どうすれば友だちよりも遠くまで走らせることができるか、自分たちで考え、工夫しながら取り組んでいました。他の教室でも参考にしたい活動プログラムです。

他にも民話の集いやグラウンドゴルフ、折り紙教室など毎回楽しいプログラムが用意されています。その際、地域の方が講師を務めることが多く、地域との交流が図られています。

